



9月 食育だより

【今月の目標】
月の行事について知ろう！

令和4年9月 小学生用

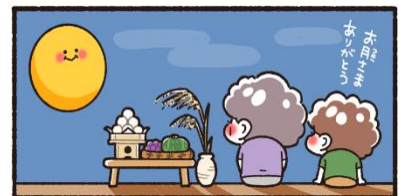
日本では昔から、季節の行事にあわせて特別な料理（行事食）を食べる習慣があります。行事と食事の結びつきは、日本の食文化にとってとても大切です。さて、今月はどんな行事と行事食があるのでしょうか？

十五夜と行事食



十五夜とは、昔の暦で8月15日の夜のことで（現在の暦では9月～10月初旬ごろ）。「中秋の名月」ともいい、1年で最も月がきれいに見えることから、月を眺める“お月見”の風習があります。ちょうど農作物の収穫時期なので、季節の野菜や果物などをお供えし、収穫に感謝する意味もあります。

今日は十五夜



月見団子

満月に見立てた丸い団子を15個お供えます。数や形は地域によってさまざまです。



愛知県名古屋



関西地方



静岡県中部地方

2022年の十五夜は9月10日です。

里いも料理

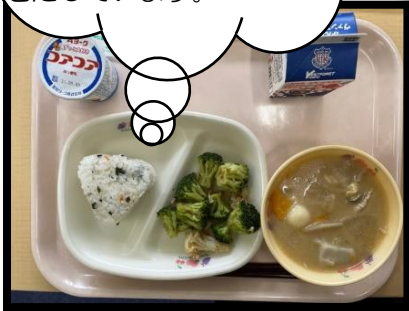
十五夜は別名で「芋名月」ともいい、里いもをお供えしたり、「きぬかつぎ」などの里いも料理を食べる風習があります。



きぬかつぎ

山梨市学校給食センター～おにぎりの作り方～

山梨市の給食センターには、「おにぎり成型機」があります。9月の“防災の日”にあわせて、「おにぎり給食」をだしています。



①ごはんを炊いて…



②具材をまぜます。写真はわかめごはんのもとです♪



③ごはんをおにぎり成型機に入れます。



④各学校に届きます。



⑤数を数えて並べます。



⑥出てきたおにぎりをバットに入れて…

